

# オッサン ショウオが行く

つほくら  
坪倉

ゆうき  
裕樹さん



## プロフィール

日南町(湯河)出身の29歳。大学進学後広島企業の企業に就職。平成30年、日南町にUターンし、役場職員、農業研修生を経て令和2年3月に独立。現在ブロッコリーと白ねぎとスイートコーンを育てている。



### この仕事をしようと思ったきっかけは

はっきりとしたきっかけがあったわけではないのですが、大学進学から広島にいて、30歳くらいには日南町に帰ってきたいという思いがありました。帰ってくるにあたって、日南町ならではの仕事ができたらと思いました。高齢化率が進む日南町で、今多くの方がされている農業を若者がすることで町内外の若い方に、より身近で魅力的な仕事と思ってもらえたらという気持ちもありました。



### やりがいは

お客様に喜んでいただけるということです。スイートコーンは現在東京から沖縄まで、鳥取県にとどまらず発注をいただいています。食べた時に「美味しい」と笑顔がこぼれているのを見ると嬉しくなります。



### 難しいことは

ねぎの栽培は重労働が多く、大変ですね。現在もパートさんに手伝っていただいているのですが、面積を広げようとするほど、力仕事ができる人を探さなければいけないので難しいなと思います。



### 大切にしていることは

野菜を毎日よく観るということです。野菜を毎日観察することで病気になった野菜を見つけたり、病気になる前に発見することができたり、害虫の被害を抑えたりすることができます。大変なことではありますが、重要なことなのでしっかり観るようにしています。



### 今後の目標は

露地野菜で就農する人が増えればと思っています。また、就農を目指している人に何か手助けできればと思っています。



### 今の時期の1日のスケジュールを教えてください

今の時期は白ねぎです。朝出荷の為に生山にねぎを持って行き、帰ってきてから昨日収穫したねぎの皮を剥く等出荷に向けて整えています。午後からはねぎの収穫を行っています。夏は朝の涼しいうちに作業をしていましたが、今の時期は朝露があり、より作業に手間がかかってしまうので午後から行うようにしています。



### 何故ブロッコリー・白ねぎ・スイートコーンの3つに選んだのですか

年中仕事ができるようにということもありますが、3品目の中で一番にスイートコーンを育てたいという思いがありました。また、他の人とは違うことに挑戦してみたいという思いもあり、今まで多かったトマトではなく、野外の畑で栽培した「露地野菜」を選びました。

露地野菜は広範囲の農地を借りないといけないのでなかなか難しいと言われていたのですが、日南町の土地を活用できる作物だと思えます。前例を作り、次の人がチャレンジしやすくなればと思えました。

